

2011年度

科目名	生理解剖学A				
担当教員	片山 洋子				
配当	人社1		コード	12021	
開期	前期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	骨格と筋肉の機能および脳と神経系について理解するために解剖学的に学習する。				
目的と概要	身体の機能を理解するには人体の解剖学知識が必要である。とくにスポーツの指導者や保健体育の教員にとっては不可欠な知識である。前期(A)は、骨格の機能解剖学と筋肉の生理学および神経系について講義する。後期(B)は、呼吸器、循環器、消化器などについて講義する。前期のみの履修ではなく、A、Bとも履修することを勧める。				
成績評価法	平常点(30%)ならびに2度の試験(35%ずつ)との総合評価を行う。				
テキスト	目で見えるからだのメカニズム/堺 章/ 医学書院				
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	教科書をよく読むこと。				
講義計画					
1 骨と筋肉のはたらき					
2 全身を形作る骨格					
3 骨の構造とはたらき					
4 骨の成長と老化					
5 関節のしくみとはたらき					
6 中間試験（骨格）					
7 筋肉の構造とはたらき					
8 筋収縮のしくみ					
9 筋肉とエネルギー代謝					
10 運動と筋肉					
11 中間試験（筋肉）					
12 神経のしくみとはたらき					
13 中枢神経(1) 脳と脊髄の構造					
14 (2) 脳の役割分担					
15 総括					